

2010年7月1日
第10号

ゆ と び や 湯戸飛夜いけいけだより



Jinen Joe

発行 西徳山まちづくりの会

記事:

- 西徳山まちづくりの会の生い立ち
- シリーズ「グループ紹介」“さくら会・加工部”
- 「特産品加工部会」スタート
- 「戸田駅開設100周年」へ向けて!!(その1))
- 平成22年度総会を開催
- シリーズ「名所旧跡めぐり」“湯野「弘中又一」記念公園”
- 目指そう 花の駅！ つくろう 交流のわ
- お知らせ

会員募集中

あなたも「西徳山まちづくりの会」で一緒に活動しませんか。会では、常時会員を募集しています。

連絡先;

(0834)63-3770
(神本)まで



毎年「いけいけフェスタ」を開催

駅前花壇の手入れをする会員



西徳山まちづくりの会の生い立ち

「湯戸飛夜(ユートピヤ)基本構想」を検証する -

ボランティアは自発的と翻訳されています。

私たちの西徳山まちづくりの会が、その産声を上げたのは1995年の6月でした。その年の1月には阪神淡路大震災が発生し、各地からボランティアと呼ばれる人たちが、その名の通り自発的に被災者の救援に参加しました。

私たちは、駅員さんがいなくなって、夜は暗くて怖い戸田駅を安全な場所にしなければいけない、もっと明るく、もっと賑やかにという思いでまちづくりの会を自発的に立ち上げました。大震災からまちづくりに至るまで、世の中が複雑になるにつれて、行政の手が届かないところがたくさん出始めた頃と期を一にしているのではないかと思います。

設立後、会員は精力的にその会を運営してきました。ワークショップによる意見の集約、まち歩きによる西徳山の特徴や良いところの再確認。講師を招いての研修など夢中になって取り組みました。

駅前に賑わいを取り戻すきっかけにしようとイベントを始めました。それが今

年第14回目を迎える西徳山いけいけフェスタです。

こうした取り組みの中でまとめたのが「湯戸飛夜(ユートピヤ)基本構想」～西徳山ウソップ物語～です。その中で、戸田駅と駅前広場の整備を住民と行政のパートナーシップで取り組まなければならない 私たちの落とした一滴のしずくは、波紋となって西徳山全域、市全体へと伝わっていくべきだと訴えています。

西徳山まちづくりの会の活動は駅だけではありません。国道2号の戸田拡幅工事の実現にもその活動の多くを割いてきました。

今年は、まちづくりの会発足から15年目となります。戸田駅も、トイレの新設、駅前広場の整備、道の駅実証店舗の開店など私たちの願いが次々と現実となってきています。国道2号の拡幅の完成も目前となっています。

しかしながら、私たちの活動は、いまだ道半ばです。こよなく愛するふるさと「西徳山」がさらに住みよいところになるように環境、観光、福祉へとそのウイングを大きく広げて進化していきます。

シリーズ「グループ紹介」

さくら会・加工部

さくら会(会員25名)では、「とれたて市場ゆーとびや」に野菜の出荷をされていますが、本年3月、会員有志16名で加工部を立ち上げられました。今回代表の柴崎さんにインタビューをしました。

冬大根での漬け物作りに間に合わせたいと大急ぎで準備し、民家の離れを借りて、食品営業の届け出をしました。弁当などを作ることのできる食品営業許可となると施設等の条件が厳しいため、今回は届け出で済む範囲ということで農産物の加工を行います。

漬け物、カット野菜、茹でた竹の子、お餅等を取れたて市場に出荷しており、よく売れています。



さくら会・加工部の皆さん

お餅の出荷に当たっては、大きさをどのくらいにしたら良いかさえ分からず、市のイベントで搗きたてお餅の販売をされているJA青壮年部戸田支部の大江さんから教えてもらい、重さを計ってみては皆で作っています。採算ということでは、まだまだですが、目指せ道の駅ということで、道の駅ができるまでにはスムーズな出荷ができるようにしたいと思います。8月には1泊2日で県内の道の駅の視察を計画しており、どのような加工品が出荷されているか、その大きさ、量、包装や価格などしっかり調査してきたいと思います。

田植え時期など忙しい時期には活動を休むこともあります、と柴崎さんは話されました。

(呑む君 記)



美味しいお餅の出来上がり

西徳山まちづくりの会 「特産品加工部会」スタート

「まちづくりの会の私たちもなんかせんにゃいけん」というわけで、6月9日特産品加工部会が立ち上がりました。

今まで特産品観光部会として、道の駅見学ツアーや、先達の方々との交流や講演会を重ねて少しばかりの勉強もしてきた？私たちが、地元

で永く主婦をしてきた経験をいかして、特産品の開発加工に着手することにしました。

今「ゆーとびや」で好評を博している「ゆーとびや弁当」開発を担った経験は、とても大変でしたが楽しいものでした。

長期・短期の構想を基に、これから私たちは、この西徳山を愛する心で、自分達も十分に楽しみながら、西徳山をアピール出来るものができたらいいな、と考えています。

この便りを読んで下さった皆様、私たちに力を貸して下さい。

様々なアイデアや我が家の伝統料理や家庭料理を教えてください。そして、出来れば一緒に開発を進めてみませんか？ご連絡お待ちしております。

私たちは本気です。西徳山のパワーを爆発させて、頑張りましょう。



張り切るメンバーの皆さん

「戸田駅開設100周年」へ向けて！！(その1)



1911年3月1日、戸田駅が開設されました。明治維新からわずか44年後のことです。政治の実権が徳川幕府から明治政府に移って以来、この極東の小さな国はかわいそうなくらい一生懸命西洋の文明を取り入れてきました。

それまで徳山駅が終着駅でした。そこから九州へ人や荷物は船を利用するので、港は大いに栄えたようです。

明治政府は、どんなにかたくさんの税金を軍隊や鉄道に使ったことでしょう。明治の人たちは、まだ見ぬ未来の日本の国の建設のために、どれだけの苦勞をしたことか計り知れないものがあります。

戸田駅開設前には、福川駅の次は富海駅だったのですが、湯野温泉入り口辺りへ駅の設置を求める要望が出されたそうです。しかし、風光明媚な海岸線を通るルートは変えられず、今の夜市に駅を開設することにしたのです。地元の要望にこたえるために、せめて名前だけでも「戸田」と名づけたようです。



駅前からいけいけフェスタを楽しむ皆さん

「富海のノミが戸田へた飛んで、夜市ヤジかぶって、福川でふくれて、富田でとられて、川崎川に流された」というのは、あの高杉晋作が陸路上京するとき、富海から富田まで面白く歌ったものだから...

晋作没後、44年後に戸田駅は開設され、それから2010年まで月日は流れ、来年(2011年)は100周年を迎えようとしています。

そんな節目の時期に、私たちは戸田駅をテーマに活動しており、これからも戸田駅と長く付き合っていきたいと思えます。今年から来年に向けてさまざまな記念行事を考え、実行することにしています。

古い戸田駅や街並みの写真などをお持ちの方はお貸し願えないでしょうか。また逸話などをご存知の方は聞かせて頂けないでしょうか。次の世代へ引き継ぐための資料作りをしています。よろしくお願いいたします。



白寿を迎える戸田駅

生け花が飾られた待合室

平成22年度総会を開催

平成22年4月10日(土)午後3時から湯野の元気村で平成22年度総会を開催しました。平成21年度の活動報告及び収支報告が承認され、平成22年度の活動方針、活動計画及び予算案を決定し、総会終了後は懇親会を行いました。

西徳山まちづくりの会は、住民主体のまちづくり活動を行政と協働することにより進めていきます。今年度は戸田駅周辺の利活用と実証店舗の支援及び新しくできる道の駅や西徳山地域での行政の動向を視野に入れた活動を軸に展開していきます。

活動計画

西徳山いけいけフェスタの開催

開催予定日 平成22年10月10日(日)

実証店舗の支援

特産品の開発など

新「湯戸飛夜基本構想」の策定

新しい道の駅との関わりなど

戸田駅前広場の環境美化

駅舎周辺の「クリーンネットワーク事業の推進など

まちづくり研修の実施

「湯戸飛夜いけいけ便り」の発行

年4回発行予定(4月、7月、10月、1月)

西徳山まちづくりの会

編集後記

西徳山まちづくりの会が発足したのは、今から15年前。そのとき私は40代の前半でした。あの頃はまちづくりの手法もわからず、暗闇で何かを探るように無我夢中、一生懸命取り組んでいました。

まちづくりという種をたくさん蒔いていたようなものです。その種は戸田駅前の整備だったり、国道2号線の拡幅だったりするのです。中には芽が出ないものもあり、芽は出たものの途中で枯れたものもありました。

しかし、このところその蒔いた種が次々と実を結びつつあります。

2年前に始めたこの広報紙も10号の記念号を発行する運びとなりました。これもまちづくりの種の一つで、ようやく定着したようです。

15年前の一生懸命の自分。2年前、「いけいけ便り」を発行しようとして躍起になっていた自分。そんな自分を今になって愛おしく感じられるようになりました。

編集委員のみんな、まちづくりの会のみんなの協力、ありがとう。

私たちは20号へ向けて、前を向いて歩き始めます。

編集長 神本康雅

発行責任者

会長 酒井昭子

広報部長 石田真理子

西徳山まちづくりの会

ホームページ URL:

www.nishi-

tokuyama.gn.to

シリーズ「名所・旧跡めぐり」

湯野「弘中又一記念公園」

明治6年、弘中又一はここ都濃郡湯野村に生まれた。明治27年に同志社普通学校全課を卒業した又一は、数学教師として松山尋常中学校(現松山東高校)に赴任した。その折、同じく新任の英語教師であった夏目漱石と一年間、教員室で机を並べることとなった。愛すべき奇行も多く、育ちの良い印象から生徒達に「坊ちゃん」と呼ばれていた又一先生を漱石は親しみを込めて小説「坊ちゃん」のモデルとして書いたのである。(「弘中又一記念公園」の記念碑碑文から)



「弘中又一記念公園」の記念碑



夜市川の辺にある
「釣りをする又一少年」の像

目指そう 花の駅！ つくろう 交流のわ

花の駅を目指して 今年こんな花を植えました。

3月 桜の苗木

4月 昨秋植えたパンジー・きんせんか・ノースポールが盛りです

5月 カザニア・ほうき草・ひまわり・マリーゴールド

6月 マリーゴールド(追加分)・サルビア・黄花コスモスを予定

どこに植えてあるかな？どのくらいになったかな？何色かな？と戸田駅周辺を散策してみませんか？植物の生長を見守ると元気がもらえます。花苗を提供して下さった地域の皆様に感謝！

(渡辺 記)

お知らせ

第14回いけいけフェスタ開催

戸田駅開設100周年の前祝(99歳:白寿)を記念した「第14回いけいけフェスタ」を10月10日(日)戸田駅前広場で開催します。

テーマ「線路はつづく どこまでも 白寿! 戸田駅 おめでとう」

西徳山まちづくりの会の全体会

原則として毎月1日および16日の19:30から夜市公民館で開催します。興味のある方は遠慮なくご参加ください。

お願い

戸田駅前の送迎用の駐車場に長時間車を止めると、子供たちの送迎に迷惑がかり、事故にもつながります。是非、ご協力ください。